



“心豊かに
笑顔あふれる”

青森県
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.
121

令和4年2月18日

夢を語り合い、考えを深め合うワークショップ 大学生とカタル！キャリア形成サポート事業

自らの夢に向かって主体的に行動できる人財を育成するために、当センターでは、大学生が中学生、高校生の将来をともに考えるワークショップ「キャリアサポ」を実施しています。中学生、高校生がグループを作り、大学生と車座になって自分の夢や将来について真剣に語り合います。また、「カタル」という大学生の体験談を聞くことで、自らの考えを深めます。参加した中学生、高校生は、このような活動を通して今と将来の自分について考え、夢の実現へ向けての目標を設定したり、日常生活、学校生活での悩みを解決する糸口をみつけたりしていきます。

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら事業を進めています。ワークショップの質を落とさないようにオンライン機器を駆使して、研修やファシリテーションの実践練習を行っています。感染者が増加して企画中止や延期が相次ぐ中ですが、大学生達は「夢を語り合うための準備」や「考えを深め合う練習」を繰り返し、企画に臨んでいます。

令和3年度実施企画 大学生集合写真



鶴田高校(R3.7.3)



浪岡高校(R3.11.6)



弘前南高校(R3.11.13)



北斗高校(R3.11.20)

オンラインで実施した弘前南企画の様子



生徒は体育館に集合してタブレット端末に映る大学生と夢を語り合い、考えを深め合いました。



大学生は研修室に集合、又は自宅から参加して、高校生とワークショップを行いました。オンラインでの実施は、対面での実施よりも準備と工夫が必要です。大学生達は、絶えず試行錯誤を重ね、思いの詰まった企画は大成功で終了しました。



オンラインで実施したキャリアサポ企画に参加した高校生の感想です。「大学生の皆さんの話を聞いたり、聞いてもらったりして、自分が思いを話すことの大切さを実感しました。自分もこういう機会があったら、ぜひ参加してみたいです。とても楽しく学べました。」「人見知りであり初対面の人とうまく会話が弾まないけど、今回は本当に楽しく会話することができました。興味深い話を教えてくれたり、質問に丁寧に答えてくれたりしてありがとうございました。本当に楽しかったです。」「キャリアサポの時間はとても有意義でした。大学生の皆さんの話を聞いて、今まで自分の中にあつたネガティブな感情が変わった気がします。心を変えるきっかけを作ってくれたこの時間と大学生にとっても感謝します。」(感想は原文通りの記載です。)

対面で実施することができませんでしたが、高校生も大学生も精一杯、夢を語り合い、考えを深め合ったことがわかります。

今後当センターでは、対面でもオンラインでも、自らの夢に向かって主体的に行動できる人財を育成していきます。

青森県総合社会教育センター



〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <https://www.als.pref.aomori.lg.jp/>

令和3年度 家庭教育支援動画 あおもり子育てネットの紹介!



当センターでは、家庭教育の不安や悩みに対する解決の糸口として、子育て情報をテレビ番組で発信する、家庭教育支援動画「あおもり子育てネットはぐくむTV」を制作し、今年度は11月～1月にRAB青森放送で、全6回を放送しました。

2月以降は、当センター公式のYouTubeチャンネルで公開する予定ですので、ぜひご覧ください。



- 第1話 「ねえ～ママ」「なあ～に？」 ～交流の大切さ～
- 第2話 ユニバーサルデザイン(UD) ～わかるはできる!～
- 第3話 アンガーマネジメント ～怒りのコントロールと伝え方～
- 第4話 食卓の雰囲気プロデュースしよう ～孤食への工夫とコミュニケーション～
- 第5話 思春期のかかわり方 ～叱ること、マイナスな表現は逆効果?～
- 第6話 子どものSOSのサインに気づく親になろう ～頼ること・頼られることの大切さ～

このほか、「あおもり子育てネット」のホームページでは、家庭教育に関するメール相談の受付や、子育てに役立つ学びや情報が満載です。これまで制作した家庭教育支援動画も多数公開しています。

詳しくは、「あおもり子育てネット」で検索を。

また、電話やメールによるご相談も受け付けておりますので、右の連絡先まで、お気軽にご相談ください。

子育てに関する不安や悩みについて
青森県総合社会教育センター
 すこやかホットライン (ご相談はこちらまで)
☎ 017-739-0101
 [毎週 月・水・木 10時～16時]
 ✉ <https://kosodate-a.net/>
 [24時間受付]

WEBページをリニューアルします!～元気青森人を創造するeラーニング推進事業～

当センターでは、県内の色々な場所で開催されている連携機関の講座や、歴史・文化・キャリア教育に関する講座を『あおもり学インターネット講座』として動画配信しています。

現在のWEBページは、パソコンや携帯電話のバージョンによって環境が異なり、使いにくいという利用者からの要望を踏まえ、すべての動画をYouTubeページにリンクにさせることで、パソコンやモバイル端末からもアクセスしやすく、使いやすい動作環境にリニューアルされます!

今年度制作したコンテンツも加わり、内容もバージョンアップしますので、ご期待ください。



学習情報提供サイト「ありすネット」～掲載情報募集中!～



当センターでは、学習情報提供サイト「ありすネット」を通して、講座・イベント等の学習機会や、指導者人材、団体・サークルなど、県民の生涯学習活動を支援するための情報を提供しています。

今年度は、ページのリニューアルを行いました!新しくなったありすネットをぜひご活用ください。

また、ありすネットに掲載する情報は随時募集しております。講師として活動したい方や、所属団体等の情報を掲載したい方はぜひご登録ください。詳しくは「ありすネット」をご覧ください。

青森県総合社会教育センター ありすネット

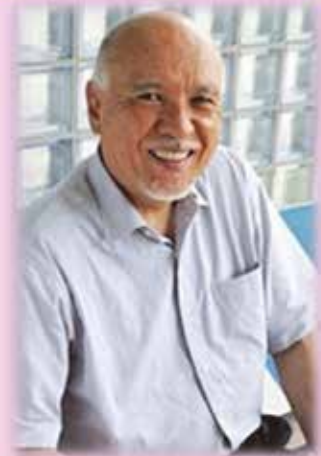
検索



ボランティア関係機関職員養成講座

11月13日（土）、あおもり県民カレッジ連携機関、NPO、ボランティア関係団体、ボランティアに関心のある高校生・大学生等を対象に、「ボランティア関係機関職員養成講座」を開催しました。この講座は、ボランティア関係者、実践活動者等の資質向上を目的とした対話・参加型のディスカッションを通して、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指すことを目的としています。

今回は、全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター 興梠(こうろき)寛(ひろし) 氏を講師にお迎えし、「ボランティアを取り巻く現状と今後の展望」と題して、講義・演習をしていただきました。講座はオンライン開催し、受講者は自宅等でのオンライン受講や会場でのスクリーン上映で受講しました。



第1章 講義「ピーターラビットの眼から見たボランティアのお話」

興梠先生から、ピーターラビットはイギリスのボランティアの象徴だということをお話いただいた後に、イギリスで生まれた「ギャップイヤー・Gap Year」という社会制度でもあるボランティアプログラムの紹介やボランティア活動ナショナル・トラスト（National Trust）の誕生についてなどボランティアの歴史や考え方について深く学びました。



第2章 ワークショップ「ダイヤモンド・ランキング」

「あなたはボランティアに何を求めたい？」をテーマに、ランキング表に9つの項目の優先順位をつけ、会場では対面式で、オンラインの受講者はグループに分かれてワークショップを行いました。それぞれの立場でボランティアに対する価値観の位置付けが違っていったことに、受講者からは視野が広がったという意見も聞かれました。

第3章 講義「快適！ボランティアリング術」

「ボランタリーライフ」とは、主体的に自分の生活を拓き、ともに生きる社会を創造するクリエイティブなライフスタイルのことです。思いやりの生活を楽しむことが大事だとお話いただきました。

最後に「世界中の人々が、一つの目標を達成したり、夢や願いを叶えたりするために、どうやったら同じ方向を見て解決できるのか、一緒にそのゴールに向かって頑張っていくんだという思いが大切。」という言葉でボランティアについて締めくくり、講座は終了しました。

本講座における詳細については、当センターホームページ「終了事業アーカイブ」内で紹介していますので、是非御覧下さい。

アーカイブはこちら》》》



ギャラリー「画伯のたまご」

当センターでは、2階展示スペース、ギャラリー「画伯のたまご」において、県内小・中・高等学校や特別支援学校の児童・生徒及び一般県民の方の美術作品等を展示しています。ぜひ、足をお運びいただき、バラエティに富んだ作品をご観覧ください。

作品展示の様子 (一般県民の方)

Mayukokoさんのやさしい世界観が観る人の心を和ましてくれました。ほっとしたひとときを過ごせる空間でした。



作品展示の様子(児童・生徒)



児童・生徒の作品には、絵画をはじめ、貼り絵や合わせ絵、紙版画、習字等があり、多種多様です。個性溢れる作品がギャラリーいっぱい展示されています。

2021年度
ギャラリー「画伯のたまご」展示作品

展示回	開 展 期 間	出 展 者
第1回	4月1日(水)～4月25日(日)	イフコ(現出展者)
第2回	5月8日(土)～5月31日(月)	Mayukoko(現出展者)
第3回	6月2日(水)～6月30日(水)	朝倉一真
第4回	7月1日(木)～7月31日(土)	工藤友哉
第5回	8月3日(水)～8月31日(水)	青森県立美術館
第6回	9月3日(水)～9月30日(土)	星 聖
第7回	10月1日(日)～10月31日(日)	青森県立美術館 青森市立美術館
第8回	11月2日(月)～11月30日(日)	青森市立美術館
第9回	12月1日(水)～12月26日(日)	青森県立美術館 青森県立高等学校
第10回	1月4日(火)～1月19日(水)	青森市立美術館
第11回	新型コロナウイルス感染症感染防止対策強化のため中止	中 止
第12回	3月2日(水)～3月31日(水)	青森県立美術館 青森市立美術館

各回の展示回数は、作品人数作業のための作業回数は最大150回までとします。

工藤友哉さんの創作ねぶた展は、どの作品も色鮮やかで力作揃いでした。鳳凰と孔雀をモチーフにした立体作品は、煌々と輝き幻想的でした。

当センターでは、多くの人々が集うにぎわいのある施設、そして、来館者の心を和ませる施設でありたいという願いを込めて、2階にギャラリー「画伯のたまご」をつくりました。ギャラリー「画伯のたまご」は、様々な可能性を秘めた児童・生徒及び一般県民の方の美術作品等の発表の場として活用しています。「当センターと学校とのつながり」や「当センターと県民とのつながり」が継続できるように、来年度も作品展示を行ってまいります。



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》
人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。